

住民ツイート

～生井沢仮設団地編～

自分の地区から出ないから他の地区の事が全然わがらない。

復興とは人の命を減らさないこと



戦争を経験したから支援員さんやいろんな人の助けをもらっている今は、不満を言っていられないというのが本音

野球部の夏の活躍は本当に素晴らしかった！



大槌高校の生徒の震災時の活躍には感動した。今までは腰パンなどだらしない格

好で、何だこの人達はと思ってだったが、高校が避難所になった時はトイレ掃除や物資を配ってくれたり、水を汲ん



でくれたり生徒一人ひとりのありがたい行動には頭が下がった。

子供たちも震災でつらい思いで大変なのに泣き言も言わず活躍してけた。



おらだちは復興を信じて今を一生懸命生きて行くだけ。

支援員ニュース おじゃましまーす

皆さんに支えられ 1年

決意新たに2年目迎える！



支援員と関係者一同 「これからもよろしくお願います！」

昨年2月に支援員事業が稼働して、はや1年が経ちました。2月6日、一周年の記念と新年度への決意も新たに、記念集会在開催されました。

現在支援員は104名。ほとんどが地元の住民です。「仮設住宅に住んでいる人全てが健康的で前向きな生活をおくる事が出来る環境をつくる」を目標に、仮設住宅での生活を取り巻く「お手伝い」と「つなぎ役」としてこの一年歩んできました。今までの振り返りと新年度に向け、事業の

責任者である山根統括から支援員に話がありました。「この事業がスタートしたところは、支援員つてのは、何のためにいて何やってんだと住民の方から言われることもありました。前例のない事業でもあり、本当にいろんなことが起こり右往左往する毎日でした。悩んだ日々も多々ありました。

毎日手さぐりで取り組み、たくさんの方からたくさんのご意見を学ばせていただいた貴重な一年でした。徐々にご理解をいただけたようにもなり、昨年2月から12月までに集会所、談話室を利用された方はのべ7万人を超えます。みなさんの日々の心がけ

がこのような結果を生みました。住民さんが集会所、談話室に来ることで健康的な生活や前向きな生活につながるよう住民さんを入れていく状況が続いていきましよう。この言葉を胸に刻み信頼される支援員を目指し、2年目も一丸となって業務に取り組みすることを決意致しました。

Information

●サックスの演奏（坪山健一さん）とお茶っこ

【日時】3月17日 13:30～15:00 【場所】大槌第7

【日時】3月16日 13:30～15:00 【場所】小槌第8

【日時】3月17日 10:00～11:30 【場所】生井沢

●心の架け橋 いわて

「お医者さんとお茶っこ」

【日時】3月9日 10:00～12:00 【場所】大槌第5

「こころとからだの健康サロン」

【日時】3月23日 10:00～12:00 【場所】大槌第4

「笑い与健康サロン 落語とお医者さんのコラボ」

【日時】3月30日 13:30～15:00 【場所】小槌第5

●適塩バランス食生活応援教室

【日時】3月12日 13:30～15:00 【場所】小槌第5

【日時】3月13日 10:00～11:30 【場所】大槌第7

【日時】3月13日 13:30～15:00 【場所】小槌第12

※予定が変更となる可能性もございますので、ご了承下さい。

編集後記

「仮設太りだあ」「私も～」という会話を集会所、談話室を廻っていると、よく聞くようになりました。狭い仮設住宅で、手の届くところに何でもおいてしまい、あまり動かない生活をした結果太ってしまったという意味らしいです。かくいう私もその口です。運動しなきゃと思いがちなかな...

そこで各仮設で毎日行われているラジオ体操でダイエットしてみませんか。

ラジオ体操は有酸素運動、筋トレ、柔軟の三つの要素を兼ね、筋肉や関節を効果的に動かす事が出来るそうです。どの筋肉を動かしているか意識しながら正確に行くと、美しい体のライン作りにも有効だとか。明日からキビキビきちんと体操して、スリムな自分を目指しましょう。(N)

ご意見・ご感想は、こちらまで。
大槌町上町1-6/0193-41-2780
otschi.info@gmail.com

前日から子供たちはそわそわしました。この日は園内で、節分の豆まきです。何かを察するのか、始まる

子、豆を投げ勇ましく立ち向かう子、楽しそうにキヤキヤ騒ぎながら走り回る子と様々です。

今月のスマイル

強い心で鬼をやっつけろ！ おさなご幼稚園



鬼のお面も上手に出来ました！

おさなご幼稚園では去年のハロウィンとクリスマスに近くの仮設住宅を廻りました。お年寄りの多い仮設住宅では園児たちの訪問はとても喜ば

れています。鬼が「泣く子はいねえが」と入ってくると、興奮も最高潮。先生に抱きついて「怖いよ」と泣き出す

途中で「鬼は(運転手の)佐々木さんだ」とわかってもお面をつけている間は怖くて近寄れない子も。「心の中にはいじわる鬼だとか泣き虫鬼がいる。鬼がきらいなのはやさしい心、正直な心。お豆を食べながら退治して強くなるうね」と園長先生。最後に「♪鬼は外へ、福は内へ」の音楽が流れるとみんな集まり、泣いていた子も大きな声で歌い出しました。「悪いことをすると鬼に連れてかれてしまう。だからしてはいけない。心理学の先生からは間違っているとわかれるかも知れないが、昔の人の知恵で、大事にしたい風習です」との園長先生の言葉で、自分の幼い頃を思い出しました。